

合川校区の  
**文化財マップ**



久留米市教育委員会

## 合川校区の文化財

合川校区は、北側に筑後川が流れ、南東の高良山こうらさんから延びた低台地上に広がっており、この台地上には多くの文化財が残されています。

人々が住み始めたのは今から約7500年前のことで、縄文時代早期頃に東合川町の上遺跡あげ いちのうえや市ノ上の市ノ上北屋敷遺跡などから、土器や石器が出土しています。その後も、湧き水わが豊富な朝妻町あさづまから東合川町付近には、縄文時代後期まで多くの遺跡が発見されています。

弥生時代には、市ノ上に甕棺墓かめかんぼや石棺墓せつかんぼからなる墓地が広がり、枝光付近えだみつには大規模な集落が営まれていたことが分かっています。

市ノ上東屋敷遺跡からは、古墳時代初め頃の豪族居宅と考えられる方形の区画が発見されています。校区の南東部にある福聚寺古墳群ふくじゅうじは、合川校区で僅かに残る古墳の一つで、久留米市内で初めて柳葉形の銅鏃りよくうれい どうそくが出土しています。

飛鳥あすか～平安時代には古代の役所である筑後国府ちくごこくふが置かれ、筑後国の政治・文化・交通・軍事などの中心地として栄えました。これまでの発掘調査によって、中心施設である政府が3度移転したことや、役人の屋敷跡、工房、文字が書かれた土器、輸入陶磁器ゆにゆうとう しきなど貴重な資料がたくさん発見されています。

江戸時代に入ると、正徳4年(1714)に久留米藩6代藩主有馬則維ありまのりふさによって朝妻焼窯あさづまやきが開かれています。

合川校区の人々は、筑後川の恵みを受けて生活してきました。しかし、一方で、たびたび起こる洪水の被害は深刻でした。人々は、洪水の際の避難用として家の納屋なやや母屋などの土間や天井に舟底ふねぞこを上もくかにして木架かに掛けて備そなえました。

合川小学校に残るあげ舟は、昭和28年(1953)の洪水時に実際に児童の避難に使われたもので、校区の人々の水との戦いを物語る貴重な資料です。



▲筑後国府跡が広がる枝光付近

ちくごこくふあと  
**国指定史跡 筑後国府跡**

今から 1300 年ほど前、現在の合川町一帯には筑後国を治める役所が設置されました。それが筑後国府です。昭和 36 年（1961）から現在まで継続して調査が行われています。

その結果、政治を執り行う中心施設である政庁が3回遷り変わったことや、周囲にはさまざまな役所、役人の住まいである国司館、工房などが広がっていたことなどがしだいに明らかになってきています。

また、中国やイスラム地方からもたらされた珍しい陶磁器、近畿や東海地方で作られた土器、文字・記号などが書かれた土器、硯、鉄製品など様々な種類の貴重な遺物が出土しています。これらの品々からは、当時の役人の仕事ぶりや交易の広がりがうかがえます。

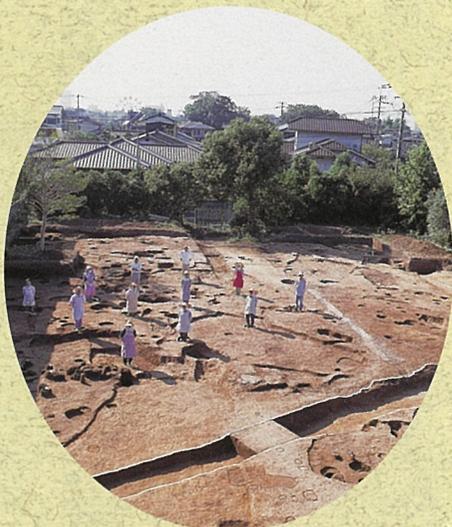
遺跡の重要性から、平成8年（1996）に国の史跡に指定されました。



▲筑後国府跡の調査の様子



▲筑後国府跡の脇殿



▲市ノ上東屋敷遺跡全景

いちのうへびがしやしきいせき  
**県指定史跡 市ノ上東屋敷遺跡**

市民球場の南側に広がる市ノ上台地には、縄文時代から江戸時代に至るまで長い間人々が生活した痕跡が見つかっています。市ノ上東屋敷遺跡では、古墳時代の初め頃の大きな溝で囲まれた方形の区画が発見されました。豪族居館または儀式を行う場所と考えられています。

## き いせき へボノ木遺跡

久留米インターチェンジの南西一帯に広がっています。古くは縄文時代や弥生時代の生活跡も発見されていますが、中心となるのは奈良～平安時代にかけての建物群跡です。

役人が身に着けたベルトの飾り、文字の書かれた土器や多数の瓦などが見つかっており、役所か寺院の跡ではないかと言われています。



▲へボノ木遺跡から出土した土器（香炉）

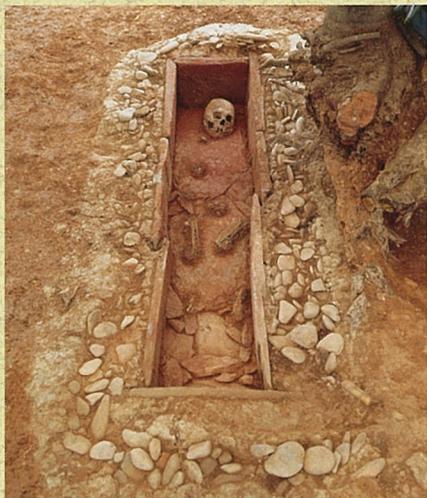
## あさつまやきかまあと 朝妻焼窯跡

江戸時代の正徳4年（1714）、現在の久留米大学御井学舎西側の丘陵に、6代藩主有馬則維の命を受けて開かれました。

有田や伊万里から陶工や絵師を招き、磁石は天草から運んで、肥前の焼き物に負けない品質の製品を生産していましたが、わずか十数年で窯を閉じてしまいました。



▲朝妻焼窯跡の調査の様子



▲福聚寺古墳群の石棺

## ふくじゅうじこふんぐん 福聚寺古墳群

高良山から北西に延びる丘陵上に造られた古墳群です。平成16年度の調査で、四角い形をした方墳が2基発見されました。どちらも4世紀頃に造られたと考えられています。石棺からは、合わせて3体分の人骨や鉄・青銅製の剣や鍔が出土しています。福聚寺裏山には江戸時代に発掘された様子を記した記念碑が残っており、内側を朱で塗った石棺の中から遺体が発見されたと伝えられています。

## ■合川校区の文化財■

| No. | 遺跡の名前                  | 遺跡の時代    | こんな遺跡です  |
|-----|------------------------|----------|--|
| 1   | いちのうえきたやしき<br>市ノ上北屋敷遺跡 | 縄文～弥生    | 縄文中期に瀬戸内で作られていた「 <small>ふなもとしき</small> 船元式土器」が出土。                  |
| 2   | いちのうえにしやしき<br>市ノ上西屋敷遺跡 | 弥生～江戸    | 弥生の墓から銅鏡 <small>どうきょう</small> が出土。                                 |
| 3   | いちのうえ<br>市ノ上遺跡         | 弥生・奈良・平安 | 市ノ上台地上で広く弥生土器などを発見。  |
| 4   | ふるこう<br>古宮遺跡           | 弥生・古墳    | 弥生後期～古墳初頭の大きな集落。   |
| 5   | おおばやし<br>大林遺跡          | 弥生・古墳    | 大林遺跡と同一の集落跡。   |
| 6   | ひがし<br>東遺跡             | 平安・中世    | 土師器などが散布。  |
| 7   | みくらその<br>御蔵園遺跡         | 弥生       | 竪穴住居、溝などを発見。   |
| 8   | ふくじゅうじ<br>福聚寺古墳群       | 古墳・江戸    | 4世紀頃の方墳を2基発見。  |
| 9   | あさづま やきかま<br>朝妻焼窯跡     | 江戸       | 1714年、久留米藩が開いた窯跡。  |
| 10  | なかこう<br>中郷遺跡           | 弥生       | <small>かめかんぼ いしふたど こうぼ</small> 甕棺墓・石蓋土壇墓を発見。                       |
| 11  | あげ<br>上遺跡              | 縄文・中世    | 縄文時代の土器・石器が出土。   |
| 12  | あさづま<br>朝妻遺跡           | 縄文・弥生    | 縄文土器、弥生時代の集落跡。   |
| 13  | みずあらい<br>水洗遺跡          | 縄文～平安    | 縄文土器、奈良時代の集落跡。   |
| 14  | へボノ木遺跡                 | 縄文～中世    | 奈良・平安時代の役所か寺院の跡。   |
| 15  | みどうしま<br>御堂島遺跡         | 奈良～平安    | 奈良・平安時代の集落跡。   |
| 16  | にしようじ<br>西小路遺跡         | 縄文・弥生    | 縄文時代後期頃の祭祀に使われた石冠 <small>せつかん</small> ・石棒 <small>せきぼう</small> を発見。 |
| 17  | したみ<br>下見遺跡            | 奈良～近世    | 御堂島遺跡と一連の集落跡。  |
| 18  | かみせんこうじ<br>上千合寺遺跡      | 弥生       | 甕棺墓を発見。  |
| 19  | しんぶ<br>新府遺跡            | 縄文・弥生    | 弥生時代の小銅鐸 <small>どうたく</small> の鋳型が出土。                               |
| 20  | にし<br>西遺跡              | 縄文・弥生    | 縄文土器、弥生時代の住居を発見。   |
| 21  | ガラン遺跡                  | 中世       | 鎌倉時代の墓地。   |

## ■指定されている文化財■

|   |                                       |       |                                     |
|---|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|
| A | じゅういちめんかんのんぼさつちようぞういたび<br>十一面観音菩薩彫像板碑 | 中世    | 旧有馬別邸内にある板碑 <small>いたび</small> 。    |
| B | いちのうえひがしやしき<br>市ノ上東屋敷遺跡               | 縄文～近世 | 古墳時代の豪族居宅跡。 <small>こうぞくきやたく</small> |
| C | ちくここくああと<br>筑後国跡                      | 飛鳥～平安 | 奈良・平安時代の役所跡。                        |
| D | ふくじゅうじ<br>福聚寺の指定文化財                   | 江戸    | 古文書、工芸品は県・市指定。                      |
| E | あふね<br>あけ舟                            | 現代    | 洪水の時の避難用の舟です。                       |
| F | く るめかずり<br>久留米緋いざり機 <small>ばた</small> | 近世    | 久留米緋の機械で、古い型式をとどめています。              |

## 合川校区の歴史年表

| 時代    | 西暦         | 合川校区のできごと                                   | 日本のできごと  |
|-------|------------|---|--|
| 旧石器時代 | 20000      |   | 狩りや漁労・採集等で生活   |
| 縄文時代  | 10000      |   | 土器や弓矢を使い始める<br>日本列島がほぼ出来上がる                              |
| 弥生時代  | 紀元前<br>紀元後 | 朝妻町付近に人が生活<br>西小路遺跡に集落ができる                  | 稲作が伝わる   |
| 古墳時代  | 300        | 大林・古宮遺跡に大集落<br>市ノ上東屋敷遺跡に豪族居宅<br>福聚寺古墳群が営まれる | 倭国大乱<br>卑弥呼が邪馬台国を治める<br>古墳が造られ始める<br>磐井の乱(527)、仏教伝来(538) |
| 飛鳥時代  | 600        |   | 乙巳の変(645)  |
| 奈良時代  |            | 筑紫大地震起きる(678)                               | 白村江の戦い(663)  |
| 平安時代  |            | 筑後国府が設置される                                  | 平城京に都を遷す(710)  |
| 鎌倉時代  | 1200       |   | 平安京に都を遷す(794)<br>鎌倉幕府の成立(1190頃)<br>室町幕府の成立(1336)         |
| 室町時代  | 1300       |   | 応仁の乱(1467)   |
| 江戸時代  | 1600       | 市ノ上の十一面観音板碑が<br>作られる                        | 江戸幕府の成立(1603)  |
| 明治時代  | 1800       | 朝妻焼が始まる                                     | 明治維新(1868)   |

### 《文化財についてのお問い合わせ先》

久留米市 市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町15-3 (市役所 12階)

電話 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア久留米敷地内)

電話 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045

### 合川校区の文化財マップ

平成26年3月31日

発行:久留米市

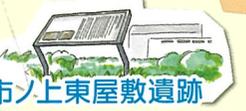
編集:市民文化部文化財保護課

印刷:香和印刷株式会社

<表紙> 筑後国府跡が広がる  
枝光付近(西上空から)



# イラストマップ



バス停

# 合川校区の文化財マップ



【久留米市イメージキャラクター】  
**くるっぴ**

## 市指定文化財

きゅうありまはん べつてい じゅういちめんかんのん ほさつちようぞういたび  
旧有馬藩別邸の十一面観音菩薩彫像板碑



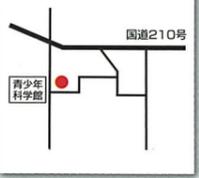
大型の自然石に十一面観音が、薄肉彫りで絵画的に表現されています。室町時代に作られたと推定されます。  
※板碑は個人の敷地内にあります。見学はご遠慮下さい。



## いちのうえにしやしきいせき 市ノ上西屋敷遺跡



弥生時代中期の竊棺墓・土塚墓・石棺墓などからなる墓地が発見されました。石棺墓からは銅鏡が見つかりました。



## 県指定史跡

### いちのうえひがしやしきいせき 市ノ上東屋敷遺跡



古墳時代初頭に掘られたと思われる、一辺約23mの方形の区画溝が確認されています。

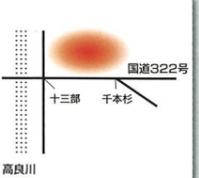


## 国指定史跡

### ちくごこくふあと 筑後国府跡



平成8年(1996)に国史跡としての指定を受けました。現在も継続して発掘調査が行われています。



## あさづま やきかまあと 朝妻焼窯跡



正徳4年(1714)に久留米藩6代藩主によって開かれた窯跡です。製品の中には底に「朝」の文字を記したのもあり、朝妻焼の特徴の一つになっています。



市ノ上北屋敷遺跡からは、今から4500年前に瀬戸内地方と交流していたことがわかる縄文土器が見つかりました。

国道322号北側の道は、久留米城下から高良山・日田方面へ向かうための道でした。

江戸時代の道



陣

### 指定文化財

#### あげ舟



あげ舟は洪水がおきの避難用の舟で、母屋の土間や天木架にかけて備えていました。



新府遺跡からは、非常に珍しい弥生時代の小銅鐸の鋳型や朝鮮半島製の石鏃が出土しています。

西小路遺跡からは、縄文時代の祭祀に使われた「石冠・石棒」が発見されました。

朝妻遺跡には、弥生時代終わり頃の集落が広がっていました。

### 県・市指定文化財

#### 福聚寺の指定文化財



寛延2年(1749)に建てられた福聚寺には、県・市指定の古文書や市指定の茶道具などの有馬家ゆかりの品などが受け継がれています。



### 県指定文化財

#### 久留米絣いざり機



いざり機はわが国固有の織機です。このいざり機は最も古い型式と言われ、部品・部材ともほとんど当時のまま残っています。



### 推定伝路

- #### 凡例
- 主な遺跡 (Main site - pink shaded area)
  - 指定文化財 (Designated Cultural Property - red dot)
  - 合川校区範囲 (Aikawa School District Range - yellow shaded area)

0 500m 1km